

# なんしよん



2011年秋号

## むれ源平 石あかりロード 2011

今年も7月30日から9月19日まで、高松市牟礼町旧庵治街道沿いで“むれ源平石あかりロード実行委員会”主催による『石あかりロード』が開催されました。

“JAPAN石あかりコンテスト2011”でエントリーされた172個の石あかりの中から、来場者の投票により【作品名：さんぼ 出展者：島木健一郎さん】が1位に選ばれました。



◆作品名：さんぼ  
◆出展者：島木健一郎さん  
魂の自由なる浮遊でしょうか？  
ユーモアを感じさせる作品です。  
下の台には小さなお墓と塔婆があります。



◆作品名：おやつちょうだい  
◆出展者：山田浩之さん  
はにかみながら覗いている  
ネコがとてもかわいい♪  
おやつって、もしかしたら  
前にいるネズミ？



◆作品名：ひつじのピース  
◆出展者：島本 壽さん  
まんまるな白い体から光が  
透けている見事な作品です。



◆作品名：リスさん  
◆出展者：坂本英之さん  
リスが手に持っている灯りが柔ら  
かく灯っています。つぶらな瞳が  
とても愛らしい作品です。



◆作品名：涼  
◆出展者：藤野 勇さん  
5つの中で唯一抽象的な作品。  
ほのかなブルーのランプの光が  
涼しさを感じさせます。

## 「しきみ」と「しきび」、そして「さかき」

先日、据付工事のため徳島県に行きました。そこで立ち寄ったスーパーで少し気になる物を目にしました。生花コーナーに、「しきみ」を売っていたのです。私は今まで「しきび」と呼んでいたのに、疑問に思い調べてみました。

『櫛（シキミ）…シキミ科（旧モクレン科）シキミ属。猛毒の種を出すので悪しき実といわれ「あしきみ」から「しきみ」と呼ぶようになった。』よって「しきび」は「しきみ」の別名であり、地域により両方の呼び名があることを知りました。

また、『この植物は実だけでなく木全体に毒がある。その毒性を利用して墓から虫や小動物を遠ざけるという意味で昔から墓前や仏前に供えられている。』との事です。そんな理由があるとは知りませんでした。



櫛（シキミ）



榊（サカキ）

さらに、『榊（サカキ）…ツバキ科サカキ属』という植物があります。これは字の如く神事に使われます。神社のお祭りで使うのはもちろん神棚には榊が欠かせません。

櫛と榊、見た目は非常に似ていますが、それぞれ深い意味があるのですね。

製造部門 木村工場長

## 庵治石彫工房の【さぬき弁講座】

日頃、香川県民の私たちが何気なく使っている“さぬき弁”。他県の方からすれば「どういう意味??」という言葉が沢山あると思います。

そこで今回は、ユニークなさぬき弁を中心に解説したいと思います。ただし、事務部門の独断と偏見で編集していますので「ちょっと違うんちゃん？」という箇所があっても、広い心で読んでいただければ幸いです(\*^-\*)。

- ★ なんしよん = どうしてる?・元気? (庵治石彫工房新聞のタイトルにもなっている)
- 🌸 おとっちゃま = 臆病者・初心者「うちのお父ちゃんはおとっちゃまやけん」
- 🍌 まっつくつい = そっくり・まったく同じ。つい < まっつい < まっつくついと三段階活用する。「野田首相と上島竜兵はまっつくついやのう」
- 🌸 おらぶ = さけぶ「有名な映画のタイトル『世界の中心で、愛をさけぶ』をさぬき弁で言うと『世界の中心で、愛をおらぶ』う〜ん…違う映画のようだ…」
- 🍌 じょんならん = どうしようもない (ジョンになりたくないという意味ではない)
- 🌸 なんがでつきよんな = 最近どうですか? (挨拶の言葉)
- 🍌 まんでがん = 全部・すべて『この服まんでがんいたあ』一度はやってみたい大人買い
- 🌸 ごじゃはげ = 無茶苦茶 (ハゲとは無関係)

次回は【さぬき弁の同音異義語】を特集します。お楽しみに。



## 謝恩会

8月10日に毎年恒例の謝恩会を開催しました。

日頃お世話になっている取引先の皆様をご招待して、弊社の敷地内でバーベキュー。今年はメニューのテーマを“韓国”と銘打って、盛り上がりました。CAD部門・竹内手作りの「チヂミ」は好評でした。



## 一日一麺 VOL.3

さて第三回麺は大阪府貝塚市にある「がちんこラーメン道・佟」さん



【こってりラーメン】

麺は細麺・焦がしニンニク油で風味も良くレモン皮の刻みが入っていてコッテリなのにしつこくなくスープも最後まで頂きました。

今回の麺は星★★★★☆4つ!!

(※あくまで個人の感想です)

トッピングに半チャーハン。醤油味が濃いめのパラパラチャーハン。



営業卸部門・大阪営業所 山口

## 編集後記

一年中で一番過ごしやすい季節がやってきました。読書の秋・スポーツの秋・芸術の秋・食欲の秋…。皆様はどの秋がお好きですか？10月29日に研修旅行で“高野山”へ行く予定です。今から楽しみにしています。担当：事務部門 田中・野崎・和田



## 有限会社 庵治石彫工房

【本社】  
〒761-0130  
香川県高松市庵治町丸山 63  
TEL : 087-871-4607  
FAX : 087-871-2933  
E-mail : sekicho@lilac.ocn.ne.jp  
HP : http://ajisekicho.com/

【大阪営業所】  
〒598-0001  
大阪府泉佐野市上瓦屋 661-1  
第2リビル 502号  
TEL : 072-469-1125  
FAX : 072-462-3899

